

## 甲州市観光振興計画策定委員会委嘱式及び第1回策定委員会議事録

日 時：平成21年10月14日（水） 午後2時～

場 所：甲州市市民文化会館3階研修室

開会挨拶（市観光産業部長）

### 1. 委嘱式

### 2. 市長挨拶

- ・策定委員就任へのお礼
- ・平成20年3月に策定した第一次甲州市総合計画（甲州市まちづくりプラン）で、市の将来像を「豊かな自然 歴史と文化に彩られた 果樹園交流のまち甲州市」とし、創意に満ちた活力ある産業のまちづくりを市政推進の柱に据えた。
- ・観光面では、地域資源や立地条件を活かし、宣伝・情報発信、各種イベントの開催、施設整備など受け入れ態勢の充実等の諸施策を進めているが、都市間競争、甲州市の全国的な認知度、就業者の高齢化、市民との協働手法など、課題も残されている。
- ・今般、甲州市まちづくりプランの分野計画として「観光振興計画」を策定するにあたっては、これまで育まれ・培われてきた資源やノウハウを活かしつつ、新たな観光・交流の振興方策を探り、今後の指針とすべく、忌憚のない意見、斬新な提言をお願いする。

### 3. 自己紹介

### 4. 議事

- (1) 「甲州市審議会等の会議の公開に関する基準」に基づき公開することについて
- (2) 甲州市観光振興計画策定委員会設置要綱について
- (3) 策定委員会役員の互選

委員長：鈴木輝隆（江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授）

副委員長：竹川良雄（甲州市観光協会会長）

【委員長】全国歩いてみて気付くのは、計画にどれだけ多くの住民が関わるかが重要であり、そうでないと計画倒れになってしまう。

計画が出来上がった後も市民が計画の運用にかかわれるようにしていきたい。甲州市の素晴らしい地域のイメージをはっきりさせて。

これまで富山、金沢の観光のお手伝いをして感じているのは、観光＝哲学・モラルを示すことにより、地域のプライドを示していくことが魅力になっている。現場に行って実際に見ながら、達成感のある計画をまとめていきたい。

【副委員長】甲州市が合併して4年。旧3市町村の観光協会を残して観光連盟を組んだものの、二重構造が問題になり、昨年、甲州市観光協会を発足。

今までは机上の空論が多く、実施できていなかった。今回は具体的で素晴らしい計画を作りたい。

( 3 ) 甲州市観光振興計画策定について

事務局から説明

( 4 ) 配布資料内容の説明(山梨総合研究所より説明)

甲州市観光の課題に関する認識整理

甲州市観光振興基本計画関連資料

WEB アンケート調査報告書(速報版)の説明

関係団体ヒアリング 課題の抽出と提案

< 質疑応答 >

委員 A 交通網や駐車場の問題や PR の方法等については以前から問題視されてきたが、市のほうでは今までどのように対応してきたのか、成果はどうか。また、これだけの分量のものを 3 月までにまとめられるのか。

事務局は次回までにはある程度の考えをまとめられるよう、答えを持ってきて欲しい。

事務局 今回初めて意見をすり合わせる。次回もう少し分かりやすく提示する。

指摘された問題、特に二次交通の問題や道路の整備、案内標識の整備については、現在庁内で検討を開始したところ。整理して提示する。

委員 B 遊休農地の補助金について確認したい。

委員長 なぜその内容を知りたいのか。

委員 B 遊休農地の活用による観光への効果を知りたい。

委員長 遊休農地がどれくらいあって、どういう風に考えられるか、活用するかまとめておいて欲しい。

委員 C 説明の中で、塩山地区には国宝・文化財が点在しているとあったが、ほとんど接する機会がない。一般市民・観光客に公開できない理由があるのか。

委員長 楯無鎧は誰も見たことがない。

事務局 常時見ることが出来る国宝は大善寺のみ。向嶽寺の国宝は東京にある。

菅田神社では神社側の考えもあり一般的に公開していない。以前から課題にはなっていた。

委員長 委員会としての意見をまとめて行きたい。できるかどうかは別にして。これから進めるにあたって、結構大変な作業となる。みんなが持っている持ち味・能力を発揮して欲しい。意見が偏っても良い。市を、観光を良くするために、現場を見たい。うたえで議論を進めて行きたい。内容的には社会に提言する委員会としていきたい。次回からは、もっと議論が出来る時間を作りたい。

委員 D 商工会の経営革新塾での経験からインターネットが重視される時代なので、HP をどのように活用・情報発信していくかテーマに入れて欲しい。

委員長 WEB情報発信については、どこかの時点で、まとめたうえで議論したい。

委員E 今後の進め方について、資料4の通りでよいか

事務局 現場も見ていただきながら、資料4の7ページ「施策の展開」のスケジュールに沿って進めていく。

委員長 基本理念、目標等を、次回提示・議論していく。

次回以降、資料及び説明は簡潔に。

やはり、現場を同じ目で見、具体的に甲州市の観光地の現状・課題について議論するのが良い。そういう機会を持ってもらいたい。今回は、ぜひ現場を見てから具体的な問題点等を議論する方向でお願いしたい。

こういう風にして欲しいという意見があれば、事務局へ。

(5)その他

事務局 次回の日程は11月17日として、まず現場を見てもらってから会議を開くこととする。スケジュールは改めて連絡する。

出席委員 16人

江戸川大学社会学部ライフデザイン学科教授 鈴木輝隆

甲州市観光協会長 竹川良雄

富士の国やまなし通訳士会長 赤松輝美

甲州市商工会事務局長 池田良雄

メルシャン勝沼ワイナリー葡萄酒資料館長 上野昇

JR八王子支社販売促進課長 大友信介

県立産業技術短期大学校観光ビジネス学科職員 押川享也

山梨県教育委員会学術文化財課長 三枝仁也

深沢沢楽の会代表 佐藤和也

大和自然学校マネージメントディレクター 佐間野昌資

観光園・民宿業 高野早陽子

染色家 古屋真知子

山小屋経営 益田真路

料理学園助手 町田綾子

山梨観光施設協会長 山野壮仁

甲州市ブドウ娘 依田后可

その他 8人(市役所職員5人、山梨総合研究所3人)

公開又は非公開の区分 公開

傍聴人の数 0人

事務局 甲州市役所 観光産業部 観光課 企画担当

〒409 - 1298 甲州市大和町初鹿野 1693-1(甲州市役所大和庁舎)

TEL 0553 - 48 - 2676

FAX 0553 - 48 - 2024

なお、会議資料は、事務局（観光課 企画担当）で閲覧できます。